

決裁区分	部長	課長	専任主幹	担当	起案	分類	0・2・4
丙	谷屋	諸星	志村	石原	石原	起案	25・6・26
						決裁	25・6・26
						施行	・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会	
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 プロジェクトチーム	
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度 第 2 回 「ヒト・モノ・カネ」調整 ワーキンググループ	
開催日時	平成 25 年 6 月 26 日（水）午前 10 時 0 分～午前 11 時 10 分	
開催場所	本庁舎 5 A 会議室	
出席者	公共施設再配置推進課長（グループリーダー）	財政課公会計改革担当主幹
	企画課主査（企画政策担当）	行政経営課主任主事（行政経営担当）
	人事課課長補佐（人材育成担当）	財産管理課課長補佐（財産管理担当）
	教育総務課課長補佐（庶務担当）	保育課課長補佐（保育こども園担当）
	大根公民館長	スポーツ振興課課長補佐（スポーツ振興担当）
	地域福祉課主査（地域福祉担当）	高齢介護課主事（在宅高齢者支援担当）
	事務局 公共施設再配置推進課専任主幹	公共施設再配置推進課主任主事
議 題	1 利用者負担の現状と課題について（方針の骨格に関する素案）	
	2 利用者負担割合基礎調査の実施について	
	3 その他	
配付資料	資料 1 利用者負担の見直しに当たっての意見書一覧	
	資料 2 利用者負担制度の見直しに当たって（方針の骨格に関する素案）	
会 議 結 果		
① 前回のWG後に照会した「所管する施設における現状と課題」及び「利用者負担制度の見直しに当たっての意見」に関する各課からの意見書一覧は別紙のとおり。		
② 利用者負担制度の見直しについて、事務局として現段階で考える素案は別紙資料のとおり。今後、各施設所管課との調整により、個別施設に当てはめることが不適切な部分については修正していく。気づいた点があれば、今後、随時指摘していただきたい。		
③ 各施設の利用者負担の詳細について、民間企業で利用されている「損益分岐点分析」の考え方を取り入れ、詳細を把握したい。シートに必要な数値等を入力する調査に御協力いただきたい。管理運営費の数値は、昨年実施した「公共施設概要調査（平成23年度実績）」と整合させるものとし、作業に必要な資料は提供する。7月中旬を目途に回答していただきたい。		
④ 起債の償還を抱える施設の考え方について ⇒ 施設によって償還の有無などに差があるので、今回検討する課題においては、統一して減価償却の考え方に置き換えた方が適切と考えている。これは、現在の支出に対する負担というよりも、将来の更新に向けて、現在の利用者にも一部負担をしてもらわなければならないと考えているためである。		
⑤ 学校開放の取り扱いについて ⇒ 学校施設の管理運営費のうち、開放のみに係る経費の把握が困難であるため、損益分岐点分析による検討は馴染まないが、スポーツ広場と同様に利用者負担を検討する必要があると思われる。		
⑥ 公民館の図書室や児童室（貸室以外）の利用者数や経費について ⇒ 各施設で把握できるようであれば、考慮して回答していただきたい。		
⑦ 調査における固定費・変動費の区分について ⇒ 施設によっては区分が実態と合わないことも想定される。その場合には、シートの説明欄で補足していただきたい。		
備考		